

こどもあんぜんクイズ おでかけ と おるすばん 解答



知らないひとから「うちのひとがケガをした。びょういんへゆこう！」
といわれた。しんぱいなので、いっしょに行く。

子供は「知らない人にはついてゆかない」と覚えていても、家族の危険などには慌てやすいものです。先生や警察、親戚など「信頼できる大人に確認してもらう」よう教えておくほうがいいでしょう。



やさしそうなひとが、にもつがおもくて、こまっている。
「てつだって」といわれたら、てつだってあげる。

子供は「やさしそうな人」「困っている人」をより信頼しやすいものです。親切はいいことですが、こういった場合は、近くの大人を呼んで手伝ってあげるように教えておきましょう。



あそびにゆくときは、どこにいて、
なんじにかえるかを おうちのひとにつたえるか、かみにかいてゆく。

子供がどこに誰といるかを把握しておく為に、子供に報告を徹底させましょう。できなかった場合、怒るのではなく「(親が)心配だから」と言うを守ろうとすることが多いようです。



みんなでいっしょにあそんでいるなら、
おそくなくても おうちのひとにいわなくていい。

「みんなと一緒になら大丈夫」と思いがちですが、複数で連れ去られたケースもあります。「お家のルール」として帰宅時間、連絡の徹底をさせましょう。



知らないひとに、かえりについてこられてた。
でも、なにもされなかったし、おうちのひとがしんぱいするから、だまっている。

今日は大丈夫でも「下見」だった可能性もあります。子供は意外に「家族が心配する」と気を使いやすいので、普段から言うておきましょう。



だれかにつかまえられそうになったり、
あぶないとおもったときは「たすけて！」と おおきなこえでさけぶ。

大きな声で「助けて」と言うのは意外に難しいものです。できれば訓練しておくことをおすすめします。



知らないひとでも、知っているひとでも、
おうちのひとに、ないしょで あそばない。

知っている人はもちろん、身近な人でも、子供に悪戯をするという残念なケースが増えています。内緒で遊ばない、「内緒と言われてもこっそり教えるように」と言うておきます。頭ごなしに怒ったりすると、より秘密にしたがりますのでご注意下さい。



だれもいないおうちにかえるときは
「ただいま」をいわないで しずかにおうちのなかにはいる。

誰もいなくても「ただいま」と元気に帰ります。「誰かが家にいる」と思わせることが大切です。夕方以降の帰宅が多いのであれば、自動で玄関に灯がつくセンサーライトなどもおすすめします。



おるすばんをしていたら、知っているひとがきた。
「ようじがあるから いえに いれて」といわれたら、すぐにいれてあげる。

知らない人でも知っている人でも、子供だけの留守番中には、家に入れない方がいいでしょう。電話も留守番電話にして「親が出かけていて子供だけ」ということを知られないようにします。



おうちで マッチやライターをみつけたら、おうちのひとに「ここにあるよ」と
おしえてあげるか、すぐにわたす。あぶないのでさわらない。

今の子供は親の世代より火そのものを見るのが少なくなっています。この為、警戒心や怖さは薄いことが多いのです。火遊びは危なく怖いものであると繰り返し伝えてあげて下さい。